

社会科学習指導案

6年1組 28名 指導者 新名主 洋 一

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 前時までの学習でかき貯めたりレイションマップをもとに、立場を明確にして話し合う言語活動を行わせることは、子どもの思考力・判断力・表現力等を高めるために効果的であるか。

1 小単元 聖武天皇と奈良の大仏（大単元 1 日本の歴史）

2 目 標

大仏造営の様子や目的、大陸文化の摂取、貴族の生活の様子などを進んで調べ、天皇を中心とした国づくりが進められていったことや日本風の文化が起こったことが分かるようにする。

3 小単元の評価規準

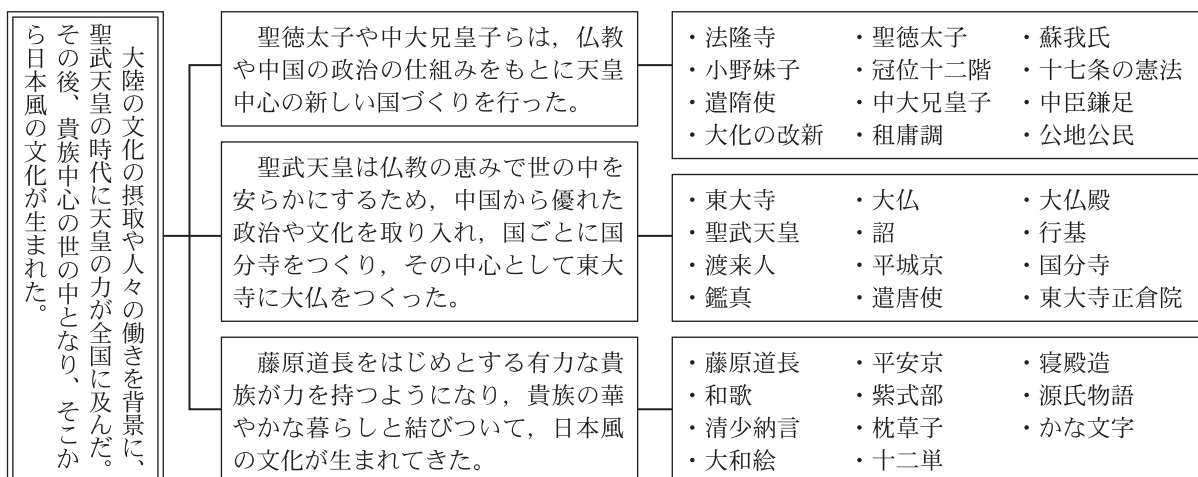
- 天皇や貴族の力が大きくなるにいたった背景に関心をもち、写真、絵図などの資料をもとに、進んで調べようとする。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 天皇を中心にした国づくりの様子や貴族が天皇に代わって政治の実権を握るに至る経緯を考える。 【社会的な思考・判断】
- 年表や写真等の資料を活用しながら、天皇中心の政治の様子や大陸とのつながり、日本風の文化の特色について読み取ることができる。 【観察・資料活用の技能・表現】
- 聖徳太子や大化の改新によって天皇中心の政治の仕組みが整えられ、聖武天皇の時代にそれが確立したこと、また、貴族の台頭によって日本風の文化が生まれたことが分かる。【社会的事象についての知識・理解】

4 小単元の構造について

(中心概念)

(基本的事項)

(基礎的事項)



5 小単元について

(1) 小単元の価値

本小単元は、学習指導要領の第6学年の目標(1)および(3)の一部を達成することをねらいとして設定した。大化の改新や大仏造営等の歴史的事象を通し、天皇中心の国づくりを行ったことや、藤原氏の台頭により、貴族中心の世の中へと移り変わり、そこから日本風の文化が起こったことが分かるようにすることをねらいとする。また、我が国の歴史について観点を決めて調査し、年表や写真、絵図などの資料を効果的に活用して調べたことを表現することで、先人の業績や代表的な文化遺産について我が国の発展に果たした役割について考える力を育てることをねらいとして設定した。

そこで、そのねらいを達成するために、まず、奈良の大仏の大きさを実感させることで、天皇の力の大きさについて気付かせることにした。そこから、子どもたちの疑問を創出し、天皇が大きな力をもつようになった経緯や大仏建立の様子、当時の人々の様子について調べる。また、藤原氏が政治の実権を握り、貴族の世の中へと移り変わり、そこから日本風の文化が生まれたことについても調べる。調べる過程においては、写真や絵図などの資料を効果的に活用させ、天皇中心の国づくりについて考えることができるようにするとともに、リレーションマップを用いた話し合い活動を設定し、調べたことや考えたことを表現できるようにした。

7 本 時 (10 / 10)

(1) 目 標

- リレーションマップで整理したことをもとに、聖武天皇の行った国づくりに対する自分の考えを根拠を明確にして発表し、相互に主張し合いながら、歴史的事象に対して主体的に考えることができる。

(2) 評価規準

聖武天皇が行った国づくりに対する自らの意見を、根拠を明確にして発言したり、主張し合ったりしながら、歴史的事象に対して主体的に考えている。 【社会的な思考・判断】

(3) 指導に当たって

本時は、「まとめる・生かす」過程の第3時で、前時までの学習をもとに聖武天皇の行った国づくりについて話し合う活動を通し、より広い視野から歴史的事象を捉えられるようになることを期待して設定した。


まず、「つかむ・見通す」過程で、話合いのめあてと進め方について確認し、本時の学習に対する見通しをもたせる。次に、「調べる」過程では、自らの立場をリレーションマップをもとに根拠を明確にして考え、討論形式で話合いを行い、聖武天皇が行った国づくりに対する認識を深めさせたい。最後に、「まとめる・生かす」過程では、話合ったことをもとに自らの意見を再考させ、歴史的事象に対して主体的に考える力を育みたい。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識 (資) 資料 () 指導 ※評価

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価		
(分) ↑ 5 ↓	つかむ・見通す	<p>1 学習（話合い）のめあてを確認する。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>聖武天皇の国づくりについて、自分の意見をまとめよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇はどんなことをしていたかな。 ・天皇中心の世の中で、人々はどのような暮らしをしていたかな。 <p>2 話合いの進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由をはっきりさせて、賛成、反対の立場を決めるんだな。 ・途中で立場を変えてもよいのだな。 		
↑ 30 ↓	調べる	<p>3 これまでかいたリレーションマップをもとに、根拠を明確にして自らの立場を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇は、人々のためを考えていたから賛成だ。 ・聖武天皇は、仏の力で平和な社会をつくらうとしたから賛成。 ・大仏づくりで多くの人々が苦しんだから反対だ。 ・人々は粗末な生活をしていたから反対だ。 <p>4 賛成派・反対派に分かれ、考えをグループや全体で交流する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>（賛成派）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇は人々のことを考えて大仏や国分寺を作ったんだ。 ・天皇に力がないと、また国が乱れてしまう。 ・中国から優れた文化を数多く取り入れている。 ・鑑真を招き、仏教を発展させた。 ・仏教の教えを政治に取り入れている。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>（反対派）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏づくりによって、中毒になる人もいた。 ・重い税でたくさんの人が苦しんでいる。 ・大仏を作るくらいなら、家や病院など、ほかのものを作るべきだ。 ・自分のことしか考えていない。 </td> </tr> </table>	<p>（賛成派）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇は人々のことを考えて大仏や国分寺を作ったんだ。 ・天皇に力がないと、また国が乱れてしまう。 ・中国から優れた文化を数多く取り入れている。 ・鑑真を招き、仏教を発展させた。 ・仏教の教えを政治に取り入れている。 	<p>（反対派）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏づくりによって、中毒になる人もいた。 ・重い税でたくさんの人が苦しんでいる。 ・大仏を作るくらいなら、家や病院など、ほかのものを作るべきだ。 ・自分のことしか考えていない。
<p>（賛成派）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖武天皇は人々のことを考えて大仏や国分寺を作ったんだ。 ・天皇に力がないと、また国が乱れてしまう。 ・中国から優れた文化を数多く取り入れている。 ・鑑真を招き、仏教を発展させた。 ・仏教の教えを政治に取り入れている。 	<p>（反対派）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏づくりによって、中毒になる人もいた。 ・重い税でたくさんの人が苦しんでいる。 ・大仏を作るくらいなら、家や病院など、ほかのものを作るべきだ。 ・自分のことしか考えていない。 			
↑ 10 ↓	まとめる・生かす	<p>5 話合いをもとに自らの立場を再考し、学習の感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞いて、考え方が変わった。 ・様々な意見が出たけれど、やっぱり考えは変わらない。 ・歴史はいろいろな見方ができるのだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>聖武天皇は人々の幸せを願い、仏の力を借りて国づくりを行ったが、それが逆に人々を苦しめていた。</p> </div> <p>6 次時の学習を確かめる。</p>		

話合いの仕方を確認することで、相手との考え方の違いを明確にさせたり、積極的に話合いに参加したりできるようにする。



(資) 前時にまとめたリレーションマップ

※ リレーションマップをもとに、根拠を明確にして、自らの考えをもつことができたか。
(ワーク、発表)

- 自らの意見を明確にできている子どもには、自分と反対の意見にも耳を傾けるよう促す。
- 自らの考えを明確にできていない子どもには、賛成派、反対派の意見を聞きながら自分の考えを明確にするよう助言する。

考えに変容があった子を意図的に指名し、言語活動によって考えが深まったことを実感できるようにする。

